

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】千曲市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
5	2005.9.29	31	2009.1.30	長野県	千曲市	64,022	119.84
構想の要約		1.バイオマスの焼却量削減と利活用、2.農家に信頼される優良たい肥の生産、3.土づくりと農作物の栽培、4.地産地消による農作物の流通、を基本目標とし、一般家庭や農家とも協働して、生ごみ、家畜排せつ物、廃おがくず等のたい肥化、食品残さ等の飼料化、廃食用油のBDF化の取り組みを進める。					
構想に盛り込まれた事業		1 生ごみ等有機性資源たい肥化事業 2 家畜排せつ物等有機性資源たい肥化事業 3 食品残さ等有機性資源たい肥化事業 4 食品残さ等有機性資源飼料化事業 5 廃食用油BDF化事業					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)	○	野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他(草木)			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(石鹼化)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマス利活用交付金等 利用状況	
----------------------	--

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

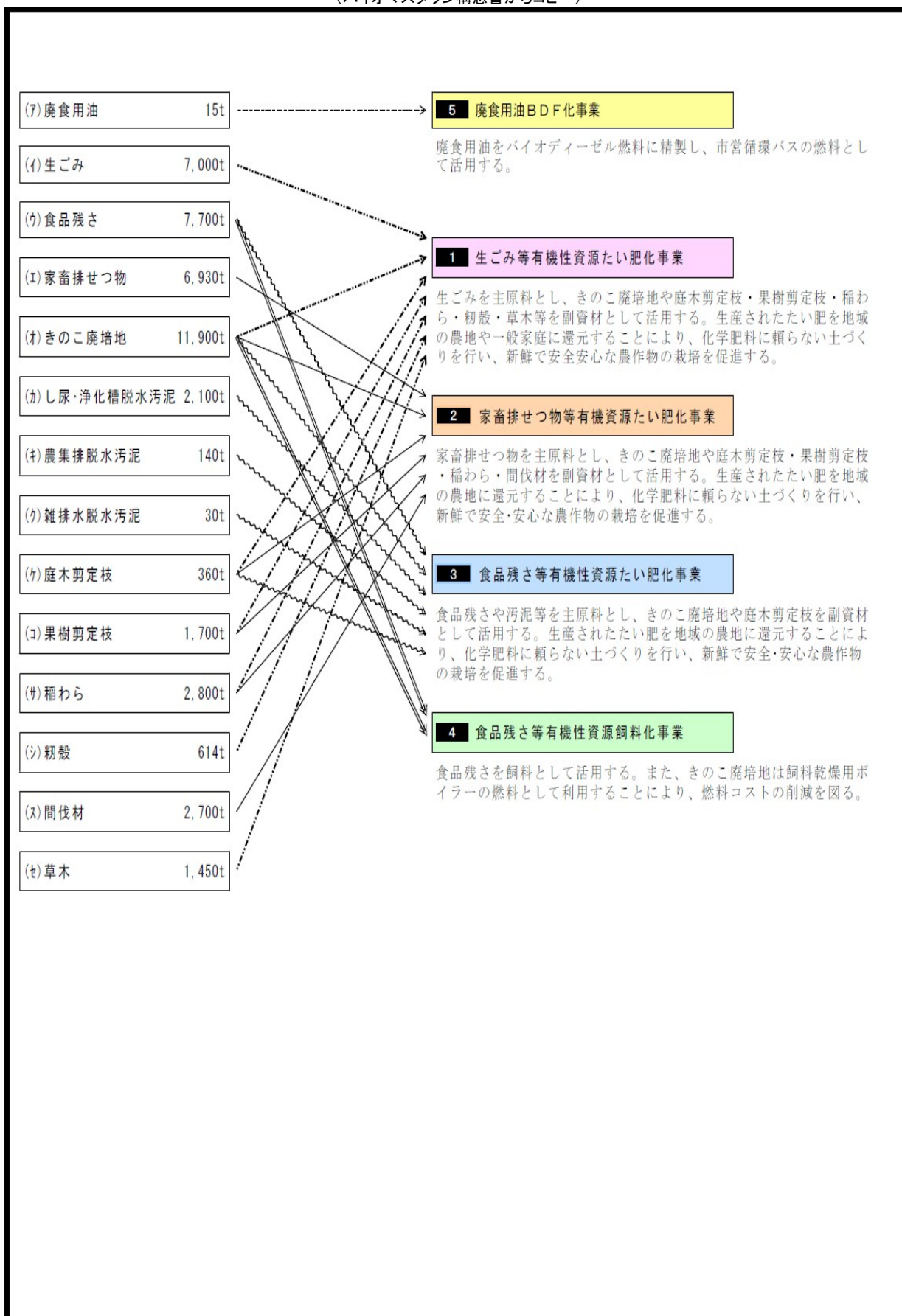
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量	現在の利活用状況	利用率	利活用目標	目標値
(廃棄物系バイオマス)			90%		96%
廃食用油	15t	石けん化 1t BDF化 5t 塗料原料 9t	100%	石けん化 1t BDF化 14t	100%
生ごみ	7,000t	たい肥化 2,000t 焼却 5,000t	28%	たい肥化 7,000t	100%
食品残さ	7,700t	たい肥化 7,130t 飼料化 570t	100%	(高品質なたい肥化) (高品質な飼料化)	100%
家畜排せつ物	6,930t	たい肥化 4,310t 浄化槽 2,620t	62%	(高品質なたい肥化)	62%
きのこ廃培地	11,900t	たい肥化 11,900t	100%	(高品質なたい肥化)	100%
し尿・浄化槽 脱水汚泥	2,100t	たい肥化 2,100t	100%	(高品質なたい肥化)	100%
農集排 脱水汚泥	140t	たい肥化 140t	100%	(高品質なたい肥化)	100%
雑排水 脱水汚泥	30t	たい肥化 30t	100%	(高品質なたい肥化)	100%
庭木剪定枝	360t	チップ化 200t (たい肥化副資材等) 焼却 160t	56%	たい肥化 360t	100%
(未利用バイオマス)			49%		83%
果樹剪定枝	1,700t	焼却 1,700t	0%	たい肥化 1,360t 焼却 340t	80%
稲わら	2,800t	マルチ等 2,600t 焼却 200t	93%	たい肥化 1,000t マルチ等 1,600t 焼却 200t	93%
初殻	600t	土壌改良材 600t	100%	たい肥化 600t	100%
間伐材	2,700t	未利用	0%	たい肥化 1,710t 未利用 990t	63%
草木	1,450t	たい肥化 1,080t 未利用 370t	74%	たい肥化 1,450t	100%
(資源作物)					

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)